

ID78K0-NS の制限事項一覧

1. 製品履歴

No	仕様変更・追加／不具合事項	バージョン	
		V2.02	V2.03
1	イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合。	×	×
2	シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合。	×	×
3	ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合。	×	×
4	トレースサーチ機能の不具合。	×	×
5	逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合。	×	×
6	オプションメニューの[カバレッジ]が有効になったままの不具合。	×	×
7	ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合。	×	×
8	ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合。	×	×
9	800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合。	×	×
10	メモリ比較結果ダイアログで、リターン・キーで動作しない不具合。	×	×
11	トレース・ダイアログでの、Add Linkボタンの不具合。	×	×
12	プログラム実行中のエラーメッセージが正しくない不具合。	×	×
13	メモリ比較ダイアログで違反領域を指定した場合の不具合。	×	×
14	プロジェクト・ファイルの読み込みでエラーを出力しない不具合。	×	×
15	I/Oプロテクト設定しても、エラー・メッセージを表示しない不具合。	×	×
16	ダウンロードダイアログで、オブジェクトもロードしてしまう不具合。	×	×
17	200文字以上の表示が途中で切れてしまう不具合。	×	×
18	178Kシリーズのデバイス選択ができない不具合。	×	
19	アセンブル・ウィンドウで7文字以上のSFR入力がエラーとなる不具合。	×	
20	ターゲットにマッピングしようとした場合、マッピングできない不具合。	×	
21	ソフトウェア・ブレークが使用できなくなる不具合。	×	
22	ソース・ウィンドウに表示されない不具合。	×	×
23	シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合。	×	×
24	ポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できない不具合。	×	×
25	ロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになる不具合。	×	×
26	左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合。	×	×
27	ディバッガ上でブレークポイントを設定することができない不具合。	×	×
28	ディバッガが異常終了する不具合。	×	×
29	カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合。	×	×
30	ソースウィンドウにソース内容が表示されない不具合。	×	×

×:該当する

○:該当しない

2. 使用制限事項の詳細

No . 1 イベント・ダイアログで、マスク値を設定できない不具合。

【内 容】イベント・ダイアログで、アドレス設定エリアに範囲指定に対してマスク値を設定できません。その場合エラーあるいはワーニングを出力しません。イベントはマスクを無視した形で設定します。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正予定です。

No . 2 シンボル変換ダイアログで、正しくないエラーを出力する不具合。

【内 容】シンボル変換ダイアログで SFR ビットを指定した場合、エラーとなりますが、間違ったエラーメッセージ " F002(f), 不正な演算式です " を出力してしまいます。

【回避策】SFR ビットのアドレスは、マップファイルでご確認ください。

【改善策】制限事項とします。

No . 3 ソース指定ダイアログで、エラーが表示されない不具合。

【内 容】ソース指定ダイアログで行番号の数値の記述が不正である場合、または省略した場合、エラーを表示せずに先頭行に移動してしまいます。

また、行番号がファイル行番号より大きい場合、エラーが表示されず、行移動しません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正予定です。

No . 4 トレースサーチの不具合。

【内 容】トレースサーチで、範囲指定し、キャレットを終了フレームより後に置き、範囲内の残りを継続前方検索した場合、終了フレームから検索せず、エラーを表示します。同様に、キャレットを先頭フレームより前に置き、範囲内の残りを継続後方検索した場合もエラーを表示します。(f003(W): 既にサーチ範囲を越えています。)

【回避策】サーチ範囲内にキャレットを置いて検索してください。

【改善策】V2.30 で修正予定です。

No . 5 逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレスを表示しない不具合。

【内 容】逆アセンブル・ウィンドウの最大表示アドレス「0xFFFF」を表示しません。

【回避策】回避策はありませんが、「0xFFFF」は、SFR 領域なので実害はありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 6 オプションメニューの[カバレッジ]が有効になったままの不具合。

【内 容】プログラム実行中にもかかわらず、オプションメニューの[カバレッジ]は有効になっています。選択しても何も設定できません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30 で修正予定です。

No . 7 ウォッチ・ウィンドウでポインタのメンバー表示ができない不具合。

【内 容】ウォッチウィンドウで、構造体、配列等のポインタのメンバーを表示した状態でプロジェクト・ファイルにセーブしても、プロジェクトファイルロード時にはメンバーを表示した状態では表示しません。また、そのときの各メンバー個別の表示進数もセーブしていません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 8 ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合の不具合。

【内 容】ソース・ウィンドウで、混合表示にした場合、下向き（ファイル末方向）にスクロールを行うと、余分なスクロールが発生し、画面表示される行番号が連続しないことがあります。また、ソースの最後尾を表示している場合、混合表示では、スクロールを使用しないと最後まで表示することができません。

【回避策】ありません。

【改善策】制限事項とします。

No . 9 800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できない不具合。

【内 容】800×600以下の画面ではステータスの一部が表示できません。

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30で修正予定です。

No . 10 メモリ比較結果ダイアログで、リターン・キーで動作しない不具合。

【内 容】メモリ比較結果ダイアログで、デフォルトボタンは「Close」になっていますが、リターン・キーで動作しません。

【回避策】マウスによりCloseしてください。

【改善策】V2.30で修正予定です。

No . 11 トレース・ダイアログでの、Add Link ボタンの不具合。

【内 容】トレース・ダイアログで、Open時の Add LinkボタンはDisableになっています。イベントリンク・ダイアログをOpenした場合は、Enableとなります。（ただし、トレース・ダイアログではイベントリンクは使用できないので、本来はAdd Linkボタンは、Disableのままが正しい。）

【回避策】ありません。

【改善策】V2.30で修正予定です。

No . 12 プログラム実行中のエラーメッセージが正しくない不具合。

【内 容】プログラム実行中にタイムダイアログをOpenすると、エラーダイアログ「0302(F):ユーザ・プログラム・トレース中です。」を2回表示してしまいます。このメッセージは正しくないので、「ユーザー・プログラム実行中です。」と読みかえてください。

【回避策】「ユーザー・プログラム実行中です。」と読みかえてください。

【改善策】V2.30で修正予定です。

No . 13 メモリ比較ダイアログで違反領域を指定した場合の不具合。

【内 容】メモリ比較ダイアログで、比較元アドレス範囲または比較先アドレス範囲に違反領域（ガード領域やマッピングできない領域）がふくまれる場合、「F201(f),メモリマッピングができませんでした」とエラーを出力し、OKするとメモリ比較ダイアログが消えてしまいます。

【回避策】違反領域を含めないように指定してください。

【改善策】V2.30で修正予定です。

No . 14 プロジェクト・ファイルの読み込みでエラーを出力しない不具合。

【内 容】V2.01より以前の版で作成したプロジェクト・ファイルをロードした場合、エラーを出力しなければならないところ、エラーを出力しません。

【回避策】V2.03でプロジェクト・ファイルを作成し直してください。

【改善策】V2.30で修正予定です。

- No . 15 I/O プロテクト設定しても、エラー・メッセージを表示しない不具合。
【内 容】ターゲット・メモリでない領域をI/Oプロテクト設定しても、エラー・メッセージを表示しません。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 16 ダウンロードダイアログで、オブジェクトもロードしてしまう不具合。
【内 容】ダウンロードダイアログで、HEXファイルを指定しシンボル情報のみのロードを指定された場合、オブジェクトもロードしてしまいます。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 17 200文字以上の表示が途中で切れてしまう不具合。
【内 容】ソース・ウィンドウ、逆アセンブル・ウィンドウ、ウォッチ系ウィンドウで一行に表示できる文字数は200文字までとなっています。200文字以上の表示は途中で切れてしまいます。
【回避策】ありません。
【改善策】制限事項とします。
- No . 18 178K シリーズのデバイス選択ができない不具合。
【内 容】178Kシリーズ用のデバイスファイルのみしかインストールされていない場合、デバイスの選択ができず、起動できません。
【回避策】他の78K0シリーズのデバイスファイルをダミーでインストールしてください。これにより、178K シリーズも選択可能になります。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 19 アセンブル・ウィンドウで7文字以上の SFR 入力エラーとなる不具合。
【内 容】アセンブル・ウィンドウでSFR名が7文字以上のSFRを入力するとエラーとなります。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 20 ターゲットにマッピングしようとした場合、マッピングできない不具合。
【内 容】内部ROM空間を縮小して、その部分をターゲットにマッピングしようとした場合、マッピングできません。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 21 ソフトウェア・ブレークが使用できなくなる不具合。
【内 容】IE-78K0-NS本体にパフォーマンス・ボード (IE-78K0-NS-PA) が装着されていない状態でプロジェクト・ファイルを読み込むと、ソフトウェア・ブレークが使用できなくなります。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 22 ソース・ウィンドウに表示されない不具合。
【内 容】アセンブラ・ソース・ファイルの先頭に、漢字など2バイトコード文字で始まるコメントを書いているソース・ファイルは、デバッガで表示できません。
(この現象は2バイトコードに起因するものなので、日本語版 Windows 上でのみで発生します。)
回避策】アセンブラ・ソース・ファイルの先頭行のコメントは、2バイトコードから始まらないように、スペース・コードなど1バイトコードを挿入してください。
【改善策】V2.30 で修正予定です。

- No . 23 シンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できない不具合。
【内 容】あるアセンブラ・ソース・ファイルでのみ有効なEQUシンボル定義を行った場合、そのシンボル値と同じアドレスに対してブレークを設定できません。
【回避策】EQU シンボルをヘッダ・ファイルに定義するなど、すべてのアセンブラ・ソース・ファイルから参照できるようにしてください。
【改善策】制限事項とします。
- No . 24 ポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できない不具合。
【内 容】void型を指すポインタ変数の値が、変数ウィンドウで正しく表示できません。
【回避策】ありません。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 25 ロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになる不具合。
【内 容】プロジェクト・ファイルを読み込んだ直後に、[ファイル]メニュー下方のファイル・リストから、プロジェクト・ファイルで読み込んだロードモジュールをもう一度ダウンロードすると、エラーになります。
【回避策】プロジェクト・ファイルの読み込みでロードモジュールはダウンロード済みです。もう一度読み直したい時は、[ファイル]-[ダウンロード]メニューを使うか、同じプロジェクト・ファイルを読み直してください。
【改善策】V2.30 で修正予定です。
- No . 26 左右矢印キーでスクロール操作すると、表示が乱れる不具合。
【内 容】SFRウィンドウやレジスタ・ウィンドウなどの「データ値表示 / 設定エリア」の横幅が狭いとき、左右矢印キーでスクロール操作すると、「データ値表示 / 設定エリア」の表示が乱れるときがあります。
【回避策】ウィンドウの横幅を広げて操作してください。
【改善策】制限事項とします。
- No . 27 デバッグ上でブレークポイントを設定することができない不具合。
【内 容】ソース・ファイルに“-”(ハイフン)を含むファイル名が存在する場合に、デバッグ上でブレークポイントを設定することができません。
【回避策】ソースファイル名を、“-”(ハイフン)を含まないものに変更してください。
【改善策】制限事項とします。
- No . 28 デバッグが異常終了する不具合。
【内 容】デバッグの仕様では、ダウンロードするロードモジュールと同名で、拡張子が“.tcl”であるスクリプト・ファイルが存在した場合、ダウンロード直前に、そのスクリプトを自動実行します。スクリプト内で、同ロードモジュールをダウンロードする記述を行っている、ダウンロードを無限に繰り返してしまい、デバッグが異常終了してしまいます。
【回避策】ダウンロード直前に自動実行しないスクリプト・ファイルは、ロードモジュールのファイル名と同じにならないように変更してください。また、ダウンロード直前に自動実行したいスクリプト・ファイルには、ロードモジュールをダウンロードする命令は記述しないでください。
【改善策】制限事項とします。

No . 29 カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されない不具合。

【内 容】カバレッジ効率表示ダイアログの最下位行が表示されません。Survey List に 21 文字以上のアイテムを含め、計 12 アイテム以上追加すると、最下位行が水平スクロールバーに隠れて表示されません。(この現象は、英語版 Windows 使用の場合のみ発生します。)

【回避策】リストの最後に 1 アイテム以上のダミーリストを追加してください。

【改善策】制限事項とします。

No . 30 ソース・ウィンドウにソース内容が表示されない不具合。

【内 容】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダに入っているソース・ファイルが、ソース・ウィンドウに表示されない場合があります。

(ソース内容が表示されていないウィンドウが表示されます)

【回避策】2 バイト文字で終わる名前のついたフォルダを使用しないようにしてください。

【改善策】制限事項とします。